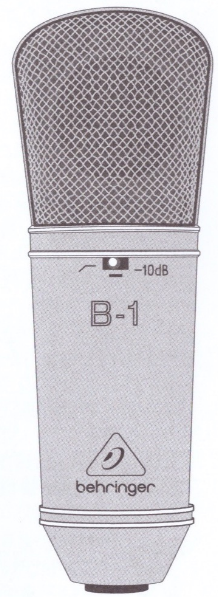
取扱説明書

JP



SINGLE DIAPHRAGM CONDENSER MICROPHONE B-1

Gold-Sputtered Large-Diaphragm Studio Condenser Microphone

behringer

A50-00002-09348

JP

JP 安全にお使いいただくために



注意
感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

JP

法的放棄

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictri.be/warranty にて詳細をご確認ください。

1. ファンタム電源の供給

コンデンサー型マイクの使用には +48 V のファンタム電源が必要です。異常のあるファンタム電源の使用に伴う B-1 の損傷には当社では一切の責任を持ちません。ファンタム電源の投入事には再生機器をミュートに切替えて下さい。B-1 は電源の投入後、安定するまでに約 6 秒を必要とします。

2. 指向特性、ロー・カット・フィルター および レベルカット

B1 に使用されているカージオイド特性の雷管は、器楽音、あるいはボーカルの指向性のレコーディングに理想的です。カージオイド特性は、録音に最も頻繁に使われる指向特性で、望ましくない反響音や背景音をカットします。

ロー・カット・フィルターはマイク後部のスイッチで投入することができます (切替え位置: 左)。このスイッチをオンに切り替えると、ポップノイズのような低音ノイズをカットすることが可能です。ロー・カット・フィルターがオンになっている状態では近距離での集音の際の周波数特性は線形です。高音ノイズに対する感度は、内部シールド機構によって最低レベルまでカットされます。

ロー・カット・フィルター用スイッチは同時に -10 dB のレベルカット用にも使用されます (切替え位置: 左)。このレベルカットスイッチはベースドラムなど、高い音圧を伴う衝撃音声の集音の際などに役立つことでしょう。このスイッチが中央位置にある場合にはこれらの機能は双方ともにオフに切り替えられています。

3. マイクおよびマイクソケットの設置方法

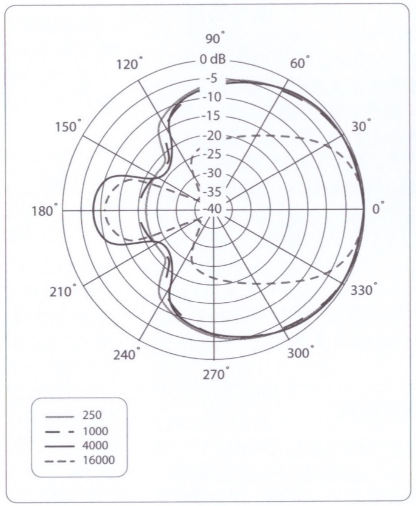
付属のマイクソケットをマイクスタンドに固定します。正しい位置が見つかったら、固定ネジを締めます。ソケットの内部にある 2 つの円 弧状のレバーを内側に向けて押すと、ソケットが開き、B-1 をソケットの上部から押し込むことができます。

4. オーディオ接続 / 音量調整

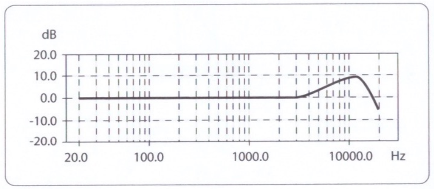
B-1 の接続にはバランス型の XLR マイクロフォンケーブルを使用してください (ピン構成は以下の通り): Pin 1 = Shield、Pin 2 = +、Pin 3 = -。B-1 の全ての接点は金めっき加工されているため、ケーブル側にも金めっきコネクタの使用をお奨めします。

ミキサーのマイクチャンネルに設けられたゲイン・コントローラーを、ピーク LED が全く点灯しないか、ごくまれに点灯する程度に調整します。マイクチャンネルの EQ コントローラーは最初野状態では中央位置に設定しておきます。ロー・カット・フィルターおよびレベルカットはオフにします。好みの音声が発生するようにマイクを移動させます。この際には球形およびカージオイド特性の双方をお試し下さい (第 3 章を参照のこと)。また、音源に対してさまざまな角度に防音壁を設置することも理想の音声の発生に役立つことでしょう。イコライザーやシグナル・プロセッサーは基本音声が希望の状態に調整されてから必要に応じて接続します。

B-1 では約 12 kHz 付近でレベルのブーストが行われます。このような強調によって、音声に過大な影響を与え、ノイズ信号を不必要に増幅する高周波域のイコライザー投入が不要になります。ミックスや録音の際に失われがちな音声の透明度はこれによって保たれることになります。



極特性線図



カージオイド特性時の周波数特性

5. 技術仕様

Transducer type	condenser, 1" single diaphragm
Operating principle	pressure gradient
Polar pattern	cardioid
Connection	gold-plated balanced XLR connector
Open circuit voltage at 1 kHz	-34 +/-2 dBV (0 dBV = 1 V/Pa)
Open circuit sensitivity	20 mV/Pa
Frequency range	20 Hz - 20 kHz
Level attenuation	-10 dB (switchable)
Low-Cut filter	6 dB/Octave at 75 Hz (switchable)
Max. SPL (1% THD @ 1 kHz)	138 dB (0 dB), 148 dB (-10 dB)
Equivalent SPL (IEC 268-4)	13 dB-A
Signal-to-noise ratio re 1 Pa	81 dB A-weighted
Nominal impedance	50 Ω
Load impedance >	1 kΩ
Mains Voltage/Fuse	
Supply voltage	+48 V
Supply current	3 mA
Physical/Weight	
Dimensions	0: 58 mm, length: 174 mm
Weight	0,461 kg